

2021 年 1 月～2021 年 6 月「緊急助成」報告書

NPO 法人チェルノブイリ救援・中部
理事長 池田光司

1. プログラムの目的

当 NPO 法人は 1986 年に旧ソ連で起こったチェルノブイリ原発事故被災地ウクライナの事故処理作業者の医療支援を 1990 年以來行ってきたが、2020 年に起こった新型コロナ・パンデミックによりウクライナでも多数の感染者が発生し、事故処理作業者の支援のために送った医療支援の資金が、ウクライナ国の緊急事態宣言により、新型コロナ対策に使いたいとの現地からの要請に従わざるを得なかった。そのため、高齢化に伴って放射線被曝による病気の増加に対する支援が出来なくなった。今回の助成金により、事故処理作業者の医療支援が従来通り行うことが可能になった。

2. 主な活動内容・スケジュール

●ウクライナ国ジトーミル州の原発事故処理作業者 4 団体（2020 年度現在 226 名）に対する医薬品の提供を行う。医療支援の必要な事故処理作業者は、病院の診断書を持参して所属団体の事務担当者による確認を行い、薬局で医薬品を受け取る。費用は当 NPO 法人の現地カウンターパートである「チェルノブイリ・ホステージ基金」が支払う。

●チェルノブイリ・ホステージ基金の事務所家賃、通信費、事務経費、職員給与などを助成金で賄う。

3. 対象

ウクライナ・ジトーミル州の事故処理作業者 4 団体（慈善基金「チェルノブイリの消防士たち」、チェルノブイリ障害者慈善基金「リクヴィダートル」、「チェルノブイリ障害者基金ジトーミル支部」、市民団体「プリピヤチ・センター」）に所属する事故処理作業者（226 名）。及び、その事業の実施に伴う事務処理を担当する「チェルノブイリ・ホステージ基金」

4. スケジュール

2021 年 1 月 チェルノブイリ・ホステージ基金に「外貨送金証明書」を送り、当局の認可が出たのち、78 万円を外貨送金した。（別紙 1.A）

2 月 4 つの事故処理作業者団体に医療費の交付を開始。

3 月～6 月 チェルノブイリ・ホステージ基金に残りの 18 万円（事務管理費）を外貨送金した（別紙 1.B）。各団体の事故処理作業者の要請に応じて医療費を支給継続。各団体の事務担当者は薬局からの受領書を受け取った。

6 月 当 NPO 法人は現地カウンターパート「チェルノブイリ・ホステージ基金」から、支援を受けた事故処理作業者のリストと個別の支援費・領収書など、活動全体の報告書を受け取った。

5. 活動の成果

医療支援を受けた事故処理作業者と支給医療費（単位：1 グリブナ（G）＝ 3.72 円）

（1）慈善基金「チェルノブイリの消防士たち」 合計 30 名 45,000 G

- (2) チェルノブイリ障害者慈善基金「リクヴィビダートル」 合計 89 名 76500 G
- (3) チェルノブイリ障害者基金ジトームル支部 合計 38 名 32,300 G
- (4) 市民団体「プリピャチ・センター」 合計 51 名 42,500 G
- (5) 死亡した事故処理作業者の寡婦 合計 18 名 14,400 G
- 合計 210,700 G = 783,804 円

- (6) 現地カウンター・パート「チェルノブイリ・ホステージ基金」の事務経費
 - 人件費 146,031 円
 - 通信費 8,120 円
 - 家賃地代 51,440 円
 - 消耗品費 15,055 円
 - 雑費 3,070 円
 - 合 計 223,716 円

この度の助成金によって、コロナ禍で不可能になるかに見えたウクライナ国ジトームル州の事故処理作業員への医療支援が従来通り実施出来た。しかしその一方で、1990 年以來、当 NPO 法人の現地における活動を真摯に助けてくれた事故処理作業員、オレグ・タビャンスキー氏（65 歳）が新型コロナに感染し、死亡する等悲しい事態も発生した。

6. 今後の課題

チェルノブイリ事故当時は 20～30 代だった事故処理作業員は事故から 35 年経過し、年齢増加と共に癌や心臓病などの疾患も多発している。しかし、ウクライナ政府による事故処理作業員への支援は年々減らされ、現在は必要な医療費の 2～3%しか支給されていない。そうした状況下で、当 NPO 法人の医療支援はこれまで大きな力になってきた。現在流行中の新型コロナ禍が今後も続けば、事故処理作業員らのおかれた状況はますます厳しくなり、医療支援の必要も更に増す可能性がある。

7. 会計報告

費 目	細 目	申請事業 の予算額 (円)	申請事業の 予算額のうち、庭野平 和財団への 申請額 (円)	申請事業の 支出額(円)	内 訳
1. 人件費	カウンターパート団体 職員の給与	¥137,372	¥137,000	¥146,031	1ドル@110.63 円(送金時のレート) 職員 1 名(代表ドンチェヴァ氏) 220ドル/月×6ヶ月=1,320ドル 1,320ドル×110.63 円=146,031 円
2. 通信費	カウンターパート団体の 事務所電話代	¥6,148	¥6,000	¥8,120	詳細は別表1「ホステージ基金業務委託費 収支表」をご覧ください。
3. 地代家賃	カウンターパート団体の 事務所家賃および 暖房費	¥30,240	¥30,000	¥51,440	詳細は別表1「ホステージ基金業務委託費 収支表」をご覧ください。
4. 消耗備品費	カウンターパート団体の 事務用品等	¥5,050	¥5,000	¥15,055	詳細は別表1「ホステージ基金業務委託費 収支表」をご覧ください。
5. 雑費	カウンターパート団体の 銀行手数料	¥2,854	¥2,000	¥3,070	詳細は別表1「ホステージ基金業務委託費 収支表」をご覧ください。
6. 医薬品費	事故処理作業者らへの 医薬品給付	¥786,775	¥780,000	¥783,804	合計 226 名へ 210,700 グリブナ分の医薬品 を支給。(送金 78 万円)(1 グリブナ 3.72 円 /送金両替レート) 詳細は別紙2「支援対象者リスト」をご覧ください。
合計(円)		¥968,439	¥960,000	¥1,007,520	

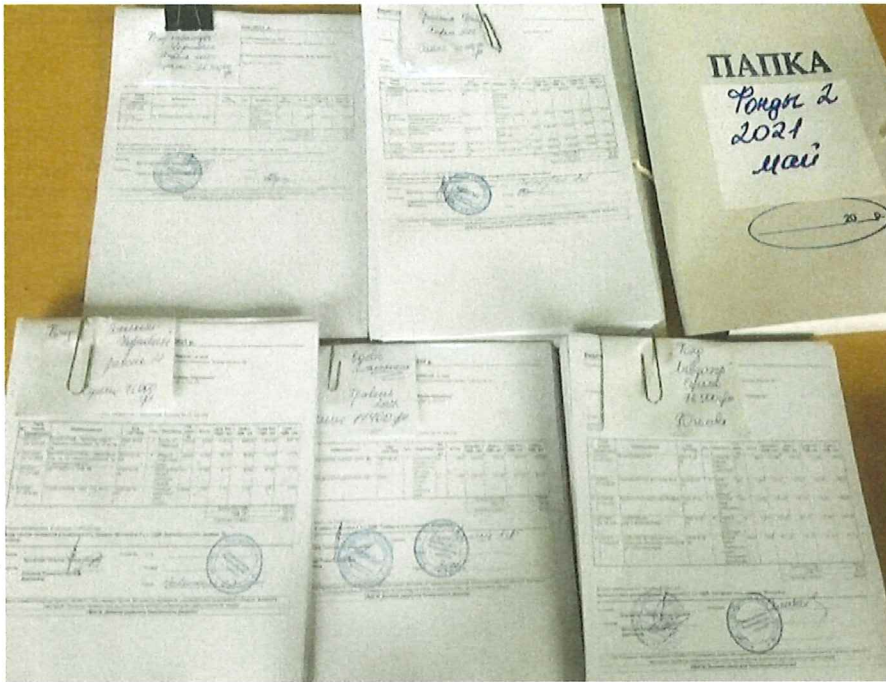
別紙1 領収書類の写しを添付いたします。

- ①市民団体「プリピャチ・センター」
（代表 L.K.ドゥボク） 会員 51 名へ 42,500 グリブナ分の医薬品を支給
- ②ジトーミル市・ジトーミル州チェルノバイリ障害者慈善基金「リクヴィダートル」
（代表 O.O.コヴァルチュク） 会員 89 名へ 76,500 グリブナ分の医薬品を支給
- ③ウクライナ国チェルノバイリ障害者基金ジトーミル市・ジトーミル州支部
（支部長 V.V.ヤルィノウシクィイ） 会員 38 名へ 32,300 グリブナ分の医薬品を支給
- ④慈善基金「チェルノバイリの消防士たち」
（代表 B.A.チュマク） 会員 30 名へ 45,000 グリブナ分の医薬品を支給
- ⑤慈善基金「チェルノバイリの消防士たち」
（代表 B.A.チュマク） 消防士の寡婦 18 名へ 14,400 グリブナ支給

合計 4 団体 226 名へ 210,700 グリブナの支援を完了した。（日本円で 783,804 円相当）

別紙3 写真

医薬品支給に対する書類226名分(カウンターパートのチェルノブイリ・ホステージ基金に保管)



医薬品を受け取る事故処理作業者の様子



事故処理作業者からの支援に対するお礼のメッセージ

Тако ставили смисла
перунама. Смена прав
бу доручен во интереса
ишо. Еднава I до кој нш
вама досега пре вазима,
се i ендотатно изотармен
мидит кофизорени ви парни
радиант Миланс релацион.
Кое i релацион / К. О. Др.

[illegible]

Я, згідно зможу
народу за допомогою,
в зазначенні лікарських
засобами

у в. Восточного
Кавказа — 14.06.2021 г.
(г.у. Бродово)

別紙5 お礼のメッセージ和訳

Я, Васянович Микола Максимович, ліквідатор аварії на ЧАЕС, пожежний Житомирщини, щиро дякую народу Японії, який не залишив нас, українців, зі своєю бідою один на один і вже на протязі довгого часу допомагає нам в вирішенні проблем в лікуванні постраждалих від ЧАЕС. Щиро бажаю процвітання і благодаті всьому японському народу.
14.05.2021

私、チェルノブイリ原発事故の事故処理作業員であり、ジトーミル州の消防士であるヴァスナーヴィチ・ムィコラ・マクシモーヴィチは、私たちウクライナ人をその不幸と共に置き去りにせず、もう長い間チェルノブイリ原発事故の被災者の治療の問題解決に力を貸して下さっている日本国民の方々に、心より感謝申し上げます。日本の皆さん全員に神の恵みがありますよう。
2021.05.14 [原文ウクライナ語]

Приєднуюсь до слів Васяновича М.М., теж щиро дякую за підтримку. Ліквідатор 1 категорії Давиденко К.С. 14.05.2021

M.M.ヴァスナーヴィチの言葉に賛同し、私もご支援に心より感謝申し上げます。第1カテゴリーの事故処理作業員 K.S.ダヴィデンコ 2021.05.14 [原文ウクライナ語]

Висловлюю велику вдячність членам і керівництву благодійної організації «Чорнобиль-Тюбу» з дружньої Японії за велику і системну допомогу ліквідаторам аварії на ЧАЕС з Всеукраїнської асоціації інвалідів Чорнобиля (по м. Житомир). Ваша допомога, шановні друзі, дозволяє нам отримувати необхідне лікування. Таке ставлення глибоко зворушливе. Стільки років ви безкорисно опікуєтесь цією справою. І за цей час ваша допомога була вчасною, як і опікування здоров'ям жителів постраждалих від радіації районів Житомирщини. В.Д. Костюкевич 15.04.2021

市民団体「チェルノブイリ救援・中部」のメンバーとスタッフの皆さんに、友好的な日本からの、チェルノブイリ原発事故の事故処理作業員たちへの絶えざる大きなご支援に対し、ジトーミル市のチェルノブイリ障害者基金より多大なる感謝を申し上げます。尊敬する友人の皆さん、皆さんのご支援のおかげで、私たちは必要な治療を受けることができます。もう何年、皆さんは私心のないこの援助を続けてこられたことでしょうか。そしてこの間、皆さんのご支援は、ジトーミル州の汚染地域の住民の健康に関するご配慮と同じく、いつも時宜にかなったものでした。

V.D.コステュケーヴィチ 2021.04.15 [原文ウクライナ語]

Я, Біляшків Левонід Петрович, ліквідатор 1 категорії, вдячний благодійному фонду «Ліквідатор» за підтримку і порозуміння в медикаментозному забезпеченні членів нашого фонду. 27.04.2021

私、第1カテゴリーの事故処理作業員レオニード・ペトローヴィチ・ビリャシケーヴィチは、慈善基金「リクヴィダートル」に、基金メンバーの医療保障に関する支援と理解に対して感謝しています。2021.04.27 [原文ウクライナ語]

Я дякую японському народу за допомогу в забезпеченні лікарськими засобами. Н.В. Вохмяніна (фонд Прип'ять-Центр) 14.04.2021

私は、医薬品の保障に関するご支援に対し、日本国民の皆さんに感謝申し上げます。

N.V.ヴォフミャニナ（「プリピャチ・センター」基金） 2021.04.27 [原文ウクライナ語]

Мне искренне хочется поблагодарить японский народ за финансовую поддержку жителей г. Припять, за медикаменты, которые мы получаем каждый год и за поддержание своего здоровья, которое ухудшается и требует больших финансовых затрат. С уважением, Дина Ивановна Германчук (фонд «Припять-Центр»).

私は衷心より、プリピャチ市民への金銭的ご支援、私たちが毎年受け取る医薬品、そして悪化しつつあり多くの出費を必要とする私たちの健康の維持に対して、日本国民の皆さんに心より感謝申し上げます。敬意を込めて、ディーナ・イヴァーノヴナ・ゲルマンチュク（「プリピャチ・センター」基金）〔原文ロシア語〕

以上